

事例紹介資料 4

お茶の水女子大学

「お茶大 SCC の取り組み

～学生支援プログラムの実践と課題～」

桂 瑠以 : 学生支援センター 講師

瀬田 すみ恵 : お茶大 SCC サポーター

学生寮シンポジウム ―大学の戦略と教育の可能性―

お茶大SCCの取り組み

～学生支援プログラムの実践と課題～

桂瑠以

(学生支援センター
学寮アドバイザー)

瀬田すみ恵

(お茶大SCCサポーター)

5名の小さなコミュニティ
ともに住まい、ともに成長する場所
お茶の水女子大学の新しい寮
お茶大StudentsCommunityCommons



本日の内容

1 お茶大SCCの理念・概要

2 平成23年度の実践報告

3 今後の課題

お茶大SCCの初期構想

- 学内ワーキンググループにより、2年間に渡る検討・概念設計を経て、平成23年度より開寮
- 欧米の学生寮視察：学生寮の教育的機能
- 人間形成機能を担う教育寮の設計
- コンセプトは、「共生を強制する学生寮」
- 本学の3つの学生寮の機能分化

3

お茶大SCCの理念

1. 寮生同士の交流
2. 主体性・自律性を養う
3. 広い視野・学習の促進

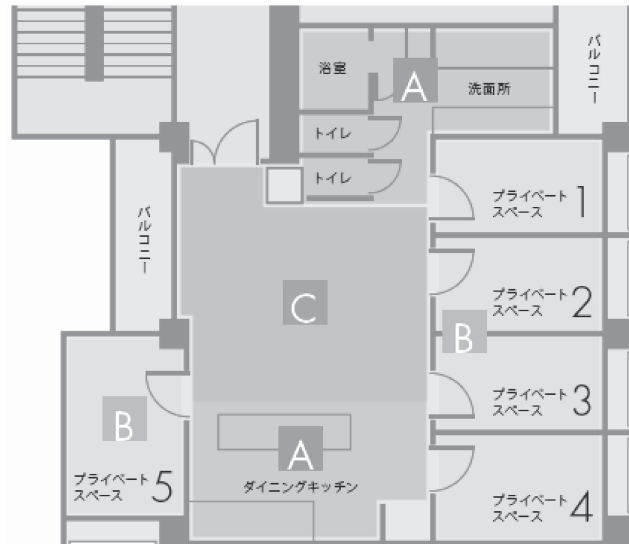
<これらの理念を実現する仕掛け>

- ハウス制
- 寮生組織
- 学寮ガイド
- 大学の管理運営組織
- 学生支援プログラム

4

ハウス制

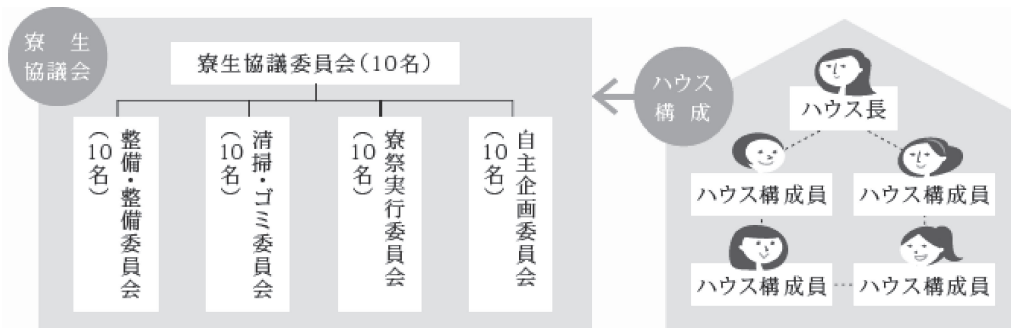
- 1ハウス5名、10ハウス
- 学年・学科が混在するようにハウスを構成
- ハウス会議(週1回)等のハウス内での活動
- 家事の仕方、掃除当番等はハウスで話し合っ
て決める



5

寮生組織

- ハウス長(1ハウス1人、計10人)
- 寮生協議委員会



- 各委員会ごとに会議(月1回)を開催：
各委員会での役割の確認・報告、問題点や解決策の検討

6

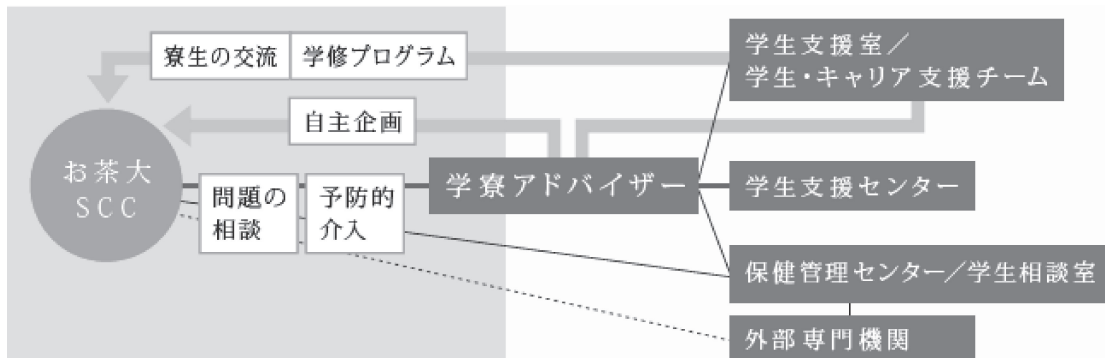
学寮ガイド

- 寮生活全般に関するガイドブック(寮での暮らし方、学生支援プログラムの実施方法、地域との関わり等…)
- 全寮生に入寮時に配布、オリエンテーションで説明



7

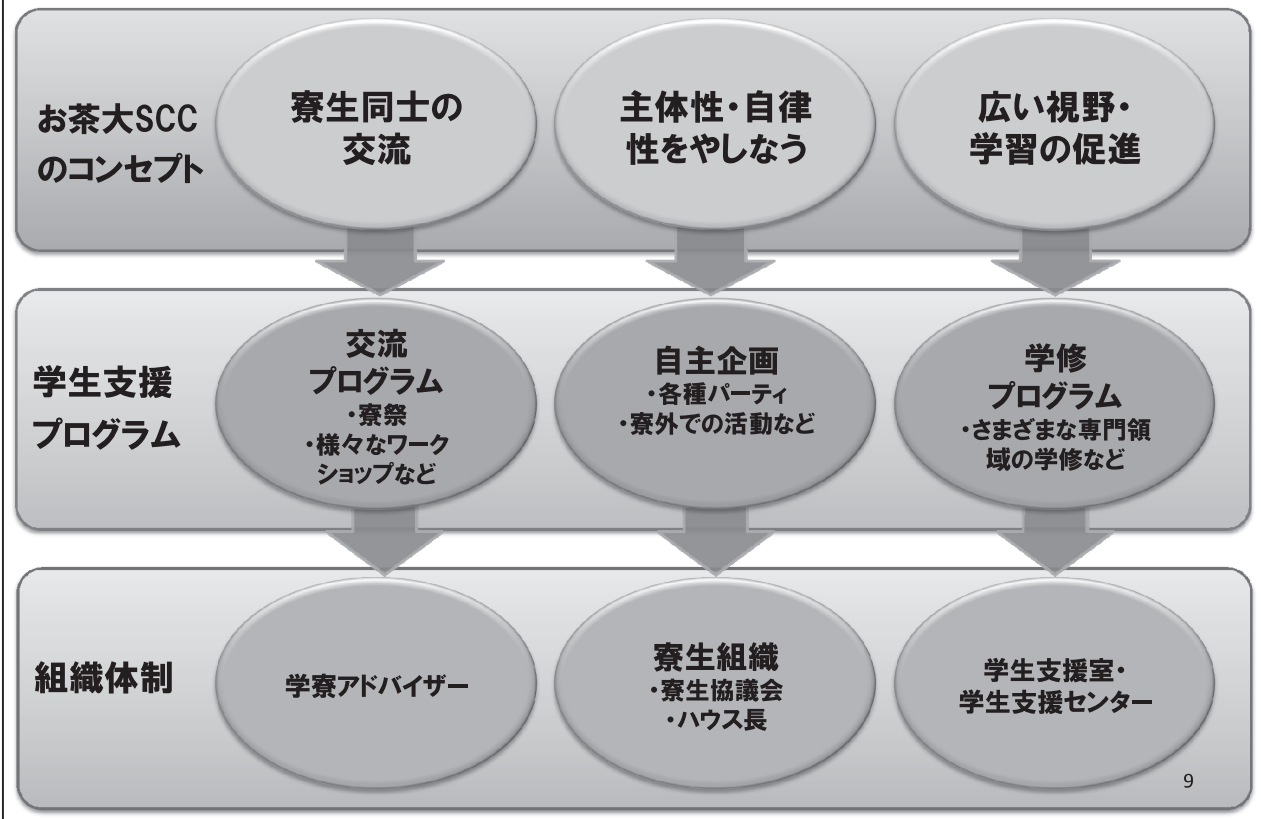
大学の管理運営組織



- 学寮アドバイザー：
大学と寮生のパイプ役、寮生の相談窓口
- SCCサポーター：
学外からのサポート機関、寮生同士の交流を促進させる
- その他、学生・キャリア支援チーム、学生相談室など、学内外の機関と連携

8

学生支援プログラム



お茶大SCCの概要

- 平成23年4月 竣工
- 共有設備：ラウンジ／エントランス／
メールボックス／ゴミステーション／
駐輪場／非常口／非常階段／自動
販売機／コピー機

※共有設備は小石川寮と共用

- ハウス専有面積：40 m²
- プライベートスペース専有面積：7 m²
- 管理人、警備員：
管理委託、24時間在中し、寮内の日常的な問題に対応
- 2011年度グッドデザイン賞(住宅部門)を受賞



平成23年度の実践報告

1 入寮時の対応

2 ハウス内での交流

3 日常の様子

1 交流プログラム

2 自主企画

3 学修プログラム

11

入寮時の対応

<入寮生選考(2~3月)>

- 所得制限、入寮希望者の作文(入寮への抱負)により選考
- 入寮許可者に、ガイドブックを送付
- 在寮生:
学部1, 2年生、49名(1年生28名、2年生21名)
※1室は学寮アドバイザーが必要に応じて利用
- 新寮生オリエンテーション、ハウス長オリエンテーションを実施(4月)

<寮生による企画>

- ウェルカムパーティ(4月)

12

ハウス内での交流

- ハウスのルール、生活スタイルは、ハウスによって様々
- ハウスリビングの使用状況は活発
(勉強会、テレビ視聴、誕生日会、鍋パーティ...)
- ハウス内・ハウス間でのトラブルや問題も報告されている
→できるだけ、自分たちで話し合っ解決するように指導するが、困難なことも



ハウスの様子



13

日常生活の様子

- 朝:
朝食は個々に摂ることが多く、個々に登校、ゴミ出し等
- 日中:
大学、サークル、アルバイト等
サークルや学外での活動に力を入れている寮生も多く、
日中は寮生同士が関わる機会は少ない
- 夜:
夕食は数人で作って摂るハウスが多い
夕食後、掃除、洗濯、入浴、勉強等
- 休日・放課後:
ハウスや同学年の寮生同士で遊びに行く・行動することも

14

交流プログラム

交流プログラム:

寮生同士の交流の促進

寮生活に必要な知識、役立つスキル、寮生が楽しく取り組めるレクリエーションなど、学寮アドバイザーが各関連機関と連携して提供



新入生オリエンテーション



ハウスの表札作り

15

23年度の交流プログラム

- 新入生オリエンテーション、ハウス長オリエンテーション(4月)
- チームワーク作りのためのワークショップ(4月)
- ハウスの表札づくり(5月)
- コミュニケーションを円滑にするワークショップ(9月)
- 新年の抱負を考えるワークショップ(1月)
- 1年の振り返りと来年度に向けたワークショップ(3月)



新年の抱負を考えるワークショップ¹⁶



交流プログラム 事例

ワークショップの流れ

導入説明

アイスブレイク

アクティビティ

ダイアログ

今日の振り返り



17

交流プログラムの成果と課題

- 交流も大切だが、まずは自立的な生活を学ぶことが基本
→清掃、門限の徹底などを指導
- ハウス内、同学年などのコミュニケーションは活性化
- 大学スタッフ先導型→寮生同士での自発的な交流は少ない



受け身にならない、課題設定の工夫

- 始めからやる気のある寮生は一部



コアメンバーを育て、コアメンバーから寮生全体へと働きかける

18

自主企画

自主企画:

寮生主催のプログラム

やってみたいイベントや活動をハウスごとに企画し、実施。

他のハウスの活動にも積極的に参加していく。

<自主企画の流れ>

- ①自主企画案の作成
- ②自主企画の実施
- ③自主企画報告書の作成



2年生主催のウェルカムパーティ ¹⁹

23年度の自主企画

- ウェルカムパーティ(4月)
- 映画上映会(8月)
- 寮祭(各ハウス、1つずつ企画)
(10月)
- 東京探検ウォーキング(11月)
- 鍋パーティ(12月)
- SCCの映画撮影(翌年のウェルカムパーティで上映)
- Let's カーヴィーダンス(1月)
- フェアウェルパーティ(3月)



寮祭



自主企画 事例

ウェルカム
パーティにも
アイスブレイクを
取り入れたいなあ



SCC寮生

【ネームタグ】

- 呼ばれたい名前
- 出身地
- 好きなこと
- ひとこと、イラスト



【共通点探し】

Q.ペアの人との共通点、
20個見つけよ!

21

自主企画の成果と課題

- 「自主」企画ではなく、「義務」企画？



「これならやりたい！」と思わせる工夫

- 寮内の仲間内での活動が多く、寮外への活動に広がりにくい



外へ出て行きたくなるような働きかけ

22

学修プログラム

学修プログラム:

大学が提供するプログラム

本学教員が年4回講義 → 講義の約1ヶ月後にハウスごとに学修発表

<学修プログラムの流れ>

- ①教員による講演
- ②ハウス内での議論・発表
資料の作成
- ③ハウスごとの発表(各10分)



第2回学修プログラム

23

23年度の学修プログラム

<講演者・タイトル>

- 第1回:羽入学長「オープニングレクチャー」
- 第2回:耳塚副学長「大学生活で何を身につけるか」
- 第3回:元岡准教授「キャンパスに見るお茶の水女子大学の歴史」
- 第4回:寮生自主企画「キャリアに関するOG懇談会」

<寮生発表例>

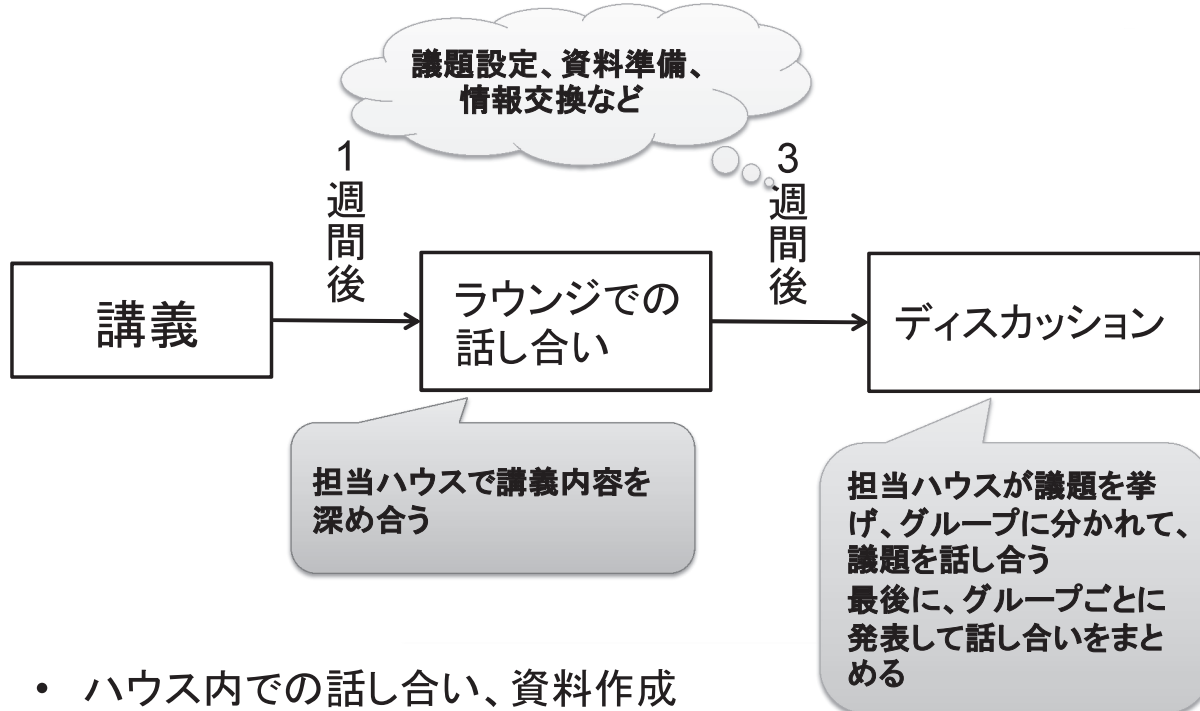
- 第1回:「歴史的観点から女性リーダーを考える」
- 第2回:「大学生活で身につけたいこと」
- 第3回:「公共施設の建築物の特徴」 など



第1回学修プログラム発表会

24

学修プログラム 事例



- ハウス内での話し合い、資料作成
- ハウス間での議論、学修の共有

25

学修プログラムの成果と課題

- やらされている意識が強く、学修の深め方もハウスによってまちまち



どんな形ならやる気になるのかを寮生と考え、進め方を一新

- 出席率の悪さ、出席者が固定化



進め方の修正、欠席届制

- 学外への交渉の困難



学寮アドバイザーや関連センター教員がその都度仲介しているが、寮生が主体的に交渉事を進めることが課題

26

成果と課題のまとめ

- 寮生の自主性を引き出す工夫



始めは様々な仕掛けが必要、その後、状況に合わせて修正しながら、寮生の自主的な意欲・活動をサポートしていく

- 関わり続けることが大切



様子・変化に気づきやすくし、即時対応する

- 自分たちでSCCをよりよく変えていこうとする意欲を伸ばす



SCCの文化を一緒に作っていく

27

23年度行事一覧(時系列順)

- 新寮オリエンテーション、ハウス長オリエンテーション[4月10日]
- ウェルカムパーティ [4月10日]
- 開寮式 [4月16日]
- 第1回学修プログラム・発表会 [4月16日・6月4日]
- チームワーク作りのためのワークショップ [4月22日]
- ハウスの表札作り [4月中旬～5月上旬]
- 第2回学修プログラム・発表会 [6月18日・7月16日]
- コミュニケーションを円滑にするワークショップ [9月23日]
- 第1回お茶大SCC寮祭 [10月23日]
- 第3回学修プログラム・発表会 [11月19日・12月17日]
- 新年の抱負を考えるワークショップ [1月21日]
- 1年の振り返りと来年度に向けたワークショップ [3月 18日]
- 第4回学修プログラム(寮生による自主企画) [3月20日]
- 卒寮証書授与式 [3月21日]
- フェアウェルパーティ [3月21日]

28

学内外への情報発信

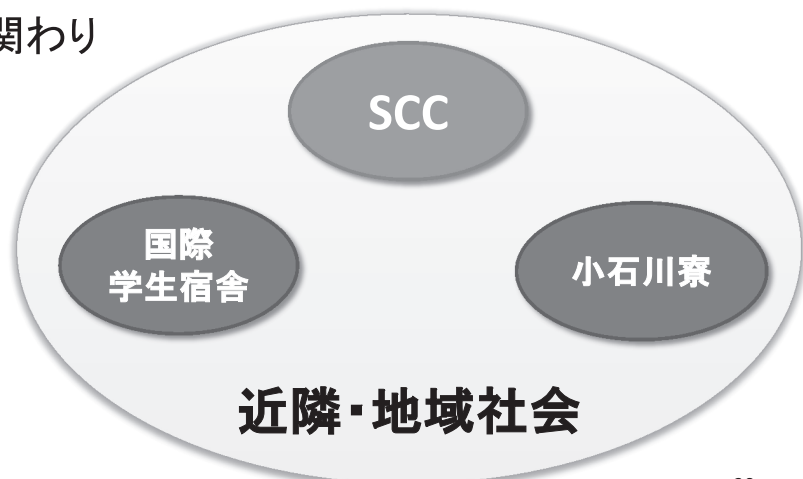
- 学内への情報発信、学内との連携
- 学外への情報発信、学外の関連機関との情報交換、連携
- 23年度のメディア取材(5件)
寮生の取材記事が新聞各社、雑誌等で掲載。



螢雪時代 2012, 01号掲載記事
29

今後の課題

- 他のハウスとの関わり
- 他の寮との関わり
- 近隣・地域との関わり
- 主体的な活動



今後の課題

- 寮生同士の交流が促進する仕掛け作り、中核的な人材育成
- 時には、葛藤経験を生かす「共生」のサポート
- 最低限のルールの徹底(門限、清掃など)→自立性を養う
- 後々は、留学生を含めた国際交流ハウスも